

メンズ美容に対する社会的意識の変化

河野綾夏

現代において、男性向けへの美容コンテンツが広がってきたように思う。

近年、男性が美容意識を高めている要因として①ジェンダーレス意識の推進②SNSの発達③コロナ禍でオンライン化が進んだことの3点が挙げられると筆者は考える。本研究では、以上のように男性の美意識に対して社会的意識にどのような変化があったのかを調査していく。

古代から江戸時代にかけては男性においても化粧をする時代であった。明治に入り、明治維新が行われ、性に見合った振る舞いを強制されるようになった。男性においては、化粧は目的達成に不必要とされ男性を化粧から排除することになった。逆に、社会的に主要とみなされた役割から「解放されていた」女性には化粧をすることが「許される」ようになったということができる。近年メンズ美容が広がってきていると見ていたが、歴史的に見てみるとむしろこの100年が男性の化粧を抑制されていた期間と捉えることができる。

メンズ美容の市場は年々拡大している。コロナ禍において、美容における対人サービスの売り上げは一時的に低下したが、モノの消費量で見ると、メンズ美容市場は年々拡大していることがわかる。

性役割分業意識というのは、男性が美容に参入するのにハードルを感じる要因だと思われる。しかし、世論調査等々から性役割分業意識は改善されつつありその影響によってメンズ美容が広がっているという見方ができる。

性役割意識の改善は商品のパッケージにも変化をもたらしている。パッケージのシンプル化は男性がコスメを手にするハードルを下げる役割を果たしていると考えることが出来る。

男女の美容に対する意識の違いや年代による意識の違いを明らかにするためにアンケート調査を実施した。調査から男女において美容への興味関心、及び実際の美容行為には差があることがわかった。近年の男性は年代に関係なく美容に興味を持つ人が増えている傾向があることがわかった。

本稿では、近年拡大しているメンズ美容について、社会的意識にどのような変化があるのかを明らかにすることを目的としていた。

メンズ美容が広がっており、これからも広がっていくことは確実であると言えるだろう。その要因として、筆写がはじめに立てた3つがある。また、研究を経て新たに、身近な立場の人の影響力が強いという要因があると考えた。